

討論

反対 宮地 葉子議員

質疑でも述べたが、人口が減っている以上の比率で黒潮町の議員は減っている。

他市町村の例を前提にするのではなく、黒潮町の議会はどうあるべきかを考えた場合、定数減は、多様な民意が削られ、声が挙がりにくくなる。これは、民主主義的ではない。今の民主主義を徹底させていくためにも、いろんな意見が町政に反映されて、住民の気持ちに沿っていく、そういう町政が住民自治を遂行させていく上で大切なことだと思う。

一方、これを住民サイドから考えた場合、住民の代表が議員なので、住民の意見がだんだん反映されにくくなり、住民にはデメリットだと思ふ。

よって、こういう議会制民主主義が衰えるようなことを、やるべきではないと思ひ、私は反対する。

賛成 西村 將伸議員

私は、この提案に3つの考え方から賛成する。

1つ目が、人口比。これにより近隣の市町村や類似団体と隔てのない考え方。現在、当町の定数は16人だが、宿毛市14人、清水市12名、類似団体の佐川町14人で、住民要望として、この14人の求めは、当然だと思ふ。

2つ目が、議事機関の成立に必要な人数の視点。この14人でも、議会報告を兼ねた住民との懇談会を持つなどの改革や、議会運営の工夫で、今まで以上に住民の意思や地域課題の行政への反映は十分可能だと思ふ。

3つ目に、我々議員の考え方。議員として、住民から信頼し得る、職責を全うし得る資質が問われる定数もあると思つている。住民の代表を負担するのなら、4年前の住民からの直接署名の事実を思い浮かべるべきで、このまま議会改革もせずに旧態依然とした議会運営を続ける限り、将

来にわたって住民からは今以上の人員削減を迫られると考えている。

反対 明神 照男議員

坂本龍馬の船中八策から始まって、明治天皇の五箇条の御誓文。広く会議を興し、万機公論に決すべしと、皆さんも学校で習ったと思う。それが民主主義と思う。

それで、提案者も言っているように、これは議員だけの問題ではなく、町民にとっても重大な問題だと思ふ。

以前、財政が厳しいとかで議員削減の話もあった。単純計算したら、1日ここへ出て

きたら何万円も貰っている。それを日当制にするとかの改革もあるはずだ。

今回の定数減については、そんなに重要な問題にもかかわらず、このような提案の仕方について反対だ。

賛成 小松 孝年議員

こういった町の規模でいかにチエック機能を果たせるかが一番重要になる。当町は、今、予算的には2倍近い予算で、かなり厳しい面もある。また、面積も広く、人口減も進んできている中、14人でチエック機能が果たせるか。いろいろ考えて悩んだ。

議員定数は、ただ減せばというものではない。定数減は住民に逆にデメリットになる部分もかなり出るのには確かだ。

最終的に賛成するのは、当町の現在の議会体制をいろいろ考えた結果、絶対大丈夫というわけではないが、出来ないうわけがないから、出来なかつたので、前回16人にした

ときの約束どおり4年間考えて、最終的に14人が現時点では最低限の数だと判断し、この提案に賛成する。

反対 森 治史議員

定数削減うんぬんよりも一番、山崎議員が新人のため、ざりざりまで発議できなかったとの答弁があつたが。この16人か14人かは、そう簡単に済む問題ではないと思ふ。その委員会の数のことも含め、いろいろあろうと思ふ。

やはり、4年前の住民の署名活動のあの重みを感じ、今回その提案をしたとのことだが、少なくとも、6月ないし9月の議会で提案していただいて、皆に十分考えて議論する時間があるべきだと思ふ。議論なしに、できない状態で提案したやり方について、私は賛成しかねるので反対する。

賛成 坂本 あや議員

この提案には全面的に賛成だ。



広島市平和記念公園にて(H25年7月)